

クラスの様子【9月号】

●ひよこ組 **【今月の目標】** 夏の疲れに留意し、安定した生活リズムの中で健康に過ごす。

7月から始まったプールでの水遊びは、体調を崩している子も多く、あまり参加出来ませんでした。しかし、りす組さんの水遊びを時々見学させてもらいました。水風船をプールに落とし水しぶきがかかり、お兄ちゃんお姉ちゃんが楽しそうに遊んでいると、側で見ていたひよこ組の子も、一緒になって嬉しそうに笑っている姿が印象的でした。見ているだけでも、まるで一緒に参加しているかのようで、刺激を受けているようでした。友だちが楽しそうに遊んでいる様子を見て、「やってみたいな」と興味を持ったり、楽しさや嬉しさを共感する事は、大切な事だと感じました。お盆休み明けから歩けるようになった子、スプーンやフォークを使って離乳食を食べれるようになった子…と大きな成長が一人ひとり見られるようになりました。今まで出来なかった事が出来た瞬間は、子どもも大人も本当に嬉しく、これからどんどんいろんな経験を積んでいきます。「すごいね」「上手だね」と沢山褒めて子ども達の成長をこれからも見守っていききたいと思います。(坂)



●りす組(もも) **【今月の目標】** 戸外でのびのびと身体を動かして遊んだり、自然に触れながら季節の変化を感じる。

少しずつ水にも慣れてきて、自分からプールの中に入って水に触れたり、バケツやジョーロに水をくんで保育士や友達の水遊びにかける気持ち良さそうにしたり、夏ならではの遊びを楽しみました。プールに入る前の着替えや排泄では、自分でプールバックを持ってきて水着を出したり、オムツやズボンの着脱を少しずつ自分でやってみようと挑戦する子が増えてきました。個々のペースに寄り添いながら、子ども達のしたいという気持ちを大切にそばで見守り、難しい所は援助をしながら、出来たという喜びを共感していききたいと思います。また最近では保育士や友達の名前を呼んで身近な人の存在を感じ、そばに行くと甘えたり、関わろうとする姿も見られます。そんな安心できる空間の中で子ども達の言葉に耳を傾け、生活の中で楽しんで言葉が使えるよう見守っていききたいと思います。9月は、戸外に出て自然に触れる体験をたくさんできたら良いなと思っています。(三浦)



●りす組(いちご) **【今月の目標】** 友だちの姿を見ながら着脱など、身の周りのことをしてみようとする。

水遊びでは、水が苦手な子も少しずつ水に触れていき、水がかかっても段々と平気になってきました。遊び方もダイナミックになってきて夏ならではの遊びを十分に楽しむことができました。水着に着替える際に、自分でズボンやオムツの着脱をしようとしていたり、靴下を自分で脱いだり履いたり、着脱に興味を持つ子やできるようになる子も増えてきました。発達段階や月齢も様々ではありますが出来る事ばかりでなく出来なくても友だちの姿を見て刺激を受け、「してみよう」とする姿も褒めると嬉しそうに笑っています。出来ないところは手伝いながら成功体験を繰り返し、沢山褒めていけたらいいなと思っています。夏の暑さから少し涼しい日もあり、体調を崩す子もいます。これから気候が変わってくると思いますが、体調面に気を配りながら夏から秋にかけての自然の移り変わりを感じていけたらいいなと思っています。(谷口)



●赤うさぎ組 **【今月の目標】** 季節の変化を感じながら身体を動かしたり、戸外遊びを楽しむ。

8月に入り、水遊びが始まる事で自分で着替える、脱いだ物をたたんでしまうということ、一人一人の気持ちに寄り添いながら毎日の積み重ねを大切に取り組んできました。『出来ない』と言っていた子も、他の子が出来たり褒められる事でやる気がでたり、チャックやボタン掛けも出来るようになってきた子もいます。そして、時間をかけながらも「自分のことは自分でする」という事が身についてきたように思います。水遊びも保育士がオバケに変身したり、風船を用いたり、いろいろな素材に触れたり遊ぶ中で自然に水に触れる楽しさを感じることができたと思います。9月からは秋の自然を感じたり、身体を動かすことを楽しんでいきたいと思います。(澤井)



クラスの様子【9月号】

●白うさぎ組 今月の目標 季節の変化を感じながら散歩や戸外遊びを楽しむ

8月はプール遊びを楽しみました。ワニ歩きをしたり、お友だちと水を掛け合ったりとダイナミックに遊び、顔に水がかかってもグッと我慢できるようになったり、少しずつ水に慣れ成長する姿がありました。プールでは水着に着替えるため着脱の機会が多くありました。自分で脱ぐことが出来なかった子ども達も、自分で試行錯誤しながら「脱げたよ！」良い笑顔で報告してくれ、褒められることで自信になっていき、どんどん着替えの時間も短くなってきました。服を畳む、裏返すことにも挑戦していたので、プールが終わった後も子ども達の習慣になるように続けていきたいと思います。りす組のお友だちが遊びに来てくれて一緒に椅子取りゲームをすると、椅子に座る時に遠慮をして譲ってあげたりと優しくする姿がありました。まだ2歳、3歳の子ども達が自分より小さい子のことを意識し、関わり方を考えて接することができたことがすごいなと思いました。これからも異年齢の関わりも大切にしていき、こういった優しい気持ちも育てていけたらと思います。(香月)



●とちのき組 今月の目標 季節の変化を感じながら、戸外で身体を動かすことを楽しむ。

8月は天気の良い日も多く、プール遊びや水遊びなど夏ならではの遊びをたくさん楽しむことができました。友だちと一緒に泳いだり、水を掛け合ったりと水の冷たさや心地よさを感じながら豪快に遊び、子どもたちの楽しそうな笑い声がたくさん響いていました。また、プール遊びを通して生活面でもたくさんの成長を感じることができました。衣服の着脱では、前後ろがわかるようになってきたり、脱いだ服をきちんとたたんだり、ボタンを頑張っしょうとしています。濡れた身体や髪の毛をタオルでしっかり拭くなど自分でできるようになってきました。これからも自分でできることを増やしなが、困ったことがあったときは自分から助けを求められるようになればと思います。(平塚)



●くぬぎ組 今月の目標 様々な事に興味を持ちながら好きなこと、得意なことが見つけられるようにする。

プール遊びや泥んこ遊びを通して、自分の好きなこと、苦手なことを感じながら楽しむ様子が見られるようになってきました。様々な事へ挑戦する子も増え、達成感を味わい、自信へも繋がっている姿に嬉しく思います。苦手な事へ抵抗感を持っていた子もお友だちと一緒に取り組むことで表情も柔らかくなり、次第に楽しんでいる様子も感じられ、友だちと一緒に！という空間は心強く感じるのだろうなあと改めて感じました。また、苦手なことへそれぞれのペースで活動へ入っていけるように見守っていますが「やってみよう！」時にはプラスな言葉を掛けて背中を押してあげることで気持ちを切り替えたり、安心できるようにもなると思います。子ども達の気持ちに寄り添いながら、保育士、お友だちと過ごすことが楽しい！面白い！と思えるように見守っていききたいと思います。また、ミニ運動会の練習も少しずつ始まってきました。一つひとつ乗り越えていけるように対話を大切にしながら丁寧に関わっていききたいと思います。(平澤)



●さくら組 今月の目標 人や物、様々な環境との関わりを楽しむ。

8月にはプールや泥んこ、水遊びなど、夏ならではの遊びを存分に楽しむことができました。最初の頃は衣服の着脱が一人で出来なかったり時間が掛かってしまっていた年少さんも今ではとてもスムーズに着替えることが出来るようになり、年中さん、年長さんは回数を重ねるごとによりアクティブに積極的に水遊びに参加できており、この時期にしかできない活動を十分に満喫出来たのではないかと思います。また、プールに入っていない間はお部屋の中でコーナー遊びに取り組む時間も多かったので、室内遊びの中での関わり合いも多く子ども達の関係も広がったのではないかと思います。9月からは運動会へ向けての練習も始まり、異年齢、年齢別、両方で活動する時間があるかと思っています。秋の涼しさを身体で感じながら異年齢、年齢別それぞれの時間のなかで友達関係を広げ、関わりを深めていってくれるといいなと思います。(安田)

